

2号議案

平成19年度事業報告について（案）

平成19年度事業計画に基づき、以下の事業について実施した。

【主催事業】

(1) 2007青春・佐賀総体競技広域中継実験

協議会発足に向けた先行事業として、2007青春・佐賀総体の競技映像をJGN2（情報通信研究機構・NICTが運営する高速・大容量の研究開発テストベッド）を活用し実験的に配信。この実験により、ハイビジョン伝送装置（開発機）による低遅延化、JGN2と地域公共NWとの相互接続性、IPマルチキャスト配信の安定運用などの技術検証を行うことができた。

* NetComさがと共催

《実験内容》

◇女子新体操競技のハイビジョン映像配信実験と遠隔応援団

宮崎県立小林商業高等学校の女子新体操競技を、ハイビジョン映像で佐賀県総合体育館から母校まで生中継（パブリックビューイング）するとともに、出場選手と母校応援者間でのエール交換（遠隔応援団）を実施
〔配信日：平成19年8月5日（日）〕



《実験内容》

◇県内CATV局制作番組の他県CATV局向映像配信実験

佐賀県内CATV局が制作し県内視聴者向けに配信する映像を九州各県CATV局、東北地域CATV局、北海道岩見沢市役所向けにJGN2経由でIPマルチキャスト配信（局留めし一般視聴者への配信なし）

[配信期間：平成19年7月28日（土）～8月20日（月）]



熊本県庁ロビーでの様子



宮崎ケーブルメディアワイワイでの様子



岩見沢市役所での様子



仙台CATVでの様子



【主催事業】

(2) 設立記念シンポジウムの開催

《実施日》 平成19年10月4日(木) 《場所》 AIMビル8F (北九州市)

《参加者》 77名

《プログラム》

◇基調講演

稲田 修一 情報通信研究機構理事

「情報通信技術の最新動向と産学官連携の強化について」

◇基調報告

西村 龍一郎 NetComさが事務局長

「『2007青春・佐賀総体』広域中継プロジェクトの実施について」

◇パネルディスカッション／フリーディスカッション

テーマ：～地域情報化の取り組みと産学官連携～

・コーディネーター

尾家 祐二 九州工業大学副情報工学部長

・パネリスト

山崎 正幸 九州経済連合会情報通信委員会企画部会長

川島 宏一 佐賀県最高情報統括監

升屋 正人 鹿児島大学学術情報基盤センター長 教授

青木 栄二 ハイパーネットワーク社会研究所事務局長

井上 英幸 宮崎地域インターネット協議会事務局長



基調講演する稲田氏（左）及び基調報告する西村氏（右）



パネルディスカッションの様子

【主催事業】

(3) ICTワークショップ（九州地域情報化研究会 in 佐賀）の実施

デジタルデバイドの解消やICT人材育成など、地域が抱える課題に関するワークショップを実施。産学官が一同に会し情報交換することで、参加者相互の地域情報化に関する知見、リテラシーの向上に寄与した。また夜なべ（夜の部）の開催により人的交流も促進された。

*NetComさがと共催

《実施日》平成20年2月22日（金）～23日（土）

《場 所》国民健康保養センターかんだき（佐賀県神埼市）《参加者》61名

《プログラム》

項 目		内 容
22日 (金)	第一部 地域情報化戦略 (13:00～15:00)	開会挨拶 佐賀県知事 古川康、総務省九州総合通信局長 武井俊幸 1)「無線を活用したブロードバンド・ゼロ解消戦略」 総務省総合通信基盤局基幹通信課 課長補佐 吉田努 2)「佐賀県における地域情報化の取組について」 佐賀県統括本部情報・業務改革課 副課長 西原幸一
	第二部 ワイヤレスブロードバンド (15:00～17:50)	1)「ワイヤレスブロードバンドに関する研究開発事例」 富士通九州ネットワークテクノロジーズ株式会社 第三開発統括部第四開発部プロジェクト課長 村岡和裕 2)「WiMAXが拓くワイヤレスブロードバンド時代」 KDDI株式会社コア技術統括本部 ネットワーク技術本部長 渡辺文夫 3)「無線を活用した地域のブロードバンド整備」 ルート株式会社 代表取締役 真野浩 4)「宮崎県美郷町におけるデジタルデバイドの現状」 美郷町役場企画情報課 課長 尾田靖
	第三部 パネルディスカッション (19:30～21:00)	コーディネーター 佐賀大学理工学部知能情報システム学科教授 渡辺健次 パネリスト 九州電力株式会社電子通信部ICT地域・国際連携グループ長 羽佐浩二 次世代高度ネットワーク九州地区推進協議会 推進副会長 広岡淳二 ヒューマンメディア財団 ICT推進室次長 井上雄仁 チームU 副会長 平田義信
23日 (土)	第四部 今後の地域情報化 (9:30～12:00)	1)「ワイヤレスブロードバンドの技術動向」 九州大学大学院システム情報科学研究院情報工学部門 准教授 堀良彰 2)「ネットワーク型協働モデルの実践」 ていすびビジネスサービス 飯盛敦博 3)「ユビキタス・ブロードバンド環境の構築を目指して ～共同研究でみる地域の情報化～」 佐賀県最高情報統括監 (CIO) 川島宏一



研究会の様子（左上）及び夜なべの様子（右上）参加者全体写真（下）



【主催事業】

(4) 九州ICTオープンスクール in 福岡

九州内の大学生を対象に、学生間の連携やコミュニティ形成、人材育成を目的として、研究発表などのICT研究に関する情報交換の場を設けた。本スクールの参加により、希少である他大学の学生との交流が深まったことで、今後のICT研究の更なる活性化に繋がることが期待される。

《実施日》平成20年3月31日(月)

《場所》九州電力B303会議室(福岡市)

《参加者》37名(内訳:学生17名、先生7名、企業その他13名)

《プログラム》

	内容
研究発表 (第1部)	<ul style="list-style-type: none"> ・九州大学 大学院 システム情報科学府 情報工学専攻 件名:「研究室の紹介」 発表者:岡村 耕二 准教授 ・大分大学 大学院 工学研究科博士前期課程 知能情報システム工学専攻 件名:「力覚提示装置PHANTOMを用いた遠隔教示システムの構築と評価」 発表者:首藤 和哉 ・宮崎公立大学 人文学部国際文化学科 件名:「大学と地域を結ぶ学生ボランティアサイトの構築」 発表者:西尾 和奈
研究発表 (第2部)	<ul style="list-style-type: none"> ・九州工業大学 大学院 工学府 電気電子工学専攻 件名:「共通データを利用するグリッドアプリケーションのためのデータ配送手法」 発表者:阿部 真一郎 件名:「アドホックネットワークを活用した無線メッシュ網の性能改善手法」 発表者:遠藤 雅彦 ・九州産業大学 大学院 情報科学研究科 情報科学専攻 件名:「Webプロキシサーバを利用した講義室ネットワークアクセス制御システム およびその運用支援システムの開発」 発表者:長田 聡 ・佐賀大学 大学院 工学系研究科 博士前期課程 知能情報システム学専攻 件名:「利用者認証システムOpengateにおける利用者別帯域制御システムの開発」 発表者:城島泰政



ICTオープンスクールの様子

【広域連携支援事業】

(1) 別府湾会議2007の遠隔中継の支援

大分県日出町で開催されたハイパーネットワーク2007別府湾会議において、会議の様様を岩手県立大学を始めとする東北9地点に遠隔中継を実施。広域のIPマルチキャスト配信についての技術検証ができた。

*実施主体：ハイパーネットワーク社会研究所

《実施日》平成19年11月2日（金）

《場 所》別府湾ロイヤルホテル～岩手県立大他8箇所



別府湾会議会場
別府湾ロイヤルホテル
大分県速見郡日出町



別府湾会議のセッション（左）及び遠隔中継の様様（右）

【広域連携支援事業】

(2) 九州広域接続実験プロジェクト（小学校の遠隔交流）の支援

JGN2（情報通信研究機構NICTが運営する高速・大容量の研究開発テストベッド）と地域公共ネットワークを接続し、遠隔地の小学校間でリアルタイムの映像を活用した交流授業を展開。実際に生徒をはじめ、先生方に利用していただいたことで、ブロードバンドネットワークの授業への活用の可能性が広がった。

*実施主体：次世代高度ネットワーク九州地区推進協議会

《実施日及び場所》

- ・平成19年12月14日（金）：佐賀県小城市砥川小～熊本県菊陽中部小
- ・平成20年 3月19日（水）：佐賀県小城市砥川小～熊本県菊陽中部小

